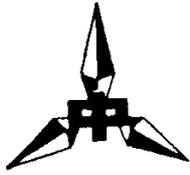


能生中学校だより



# 三一録

能生中ホームページ <http://www.itoigawa.ed.jp/nou-jhs/>

令和3年5月20日

NO. 2

糸魚川市立能生中学校

〒949-1352 能生2643

☎025-566-2065

## 能生中トピックスから(能生中ホームページから抜粋)

「能生中トピックス」は、能生中ホームページで、定期的に更新しています。ぜひご覧ください。

校長 吉田 和則

### 吹奏楽部 第1回昼休みコンサート



恒例となっています、吹奏楽部のミニコンサートが4/21の昼休みに行われました。いつもの会場とは違い、一階の多目的教室での実施です。音楽室に比べ、音の防音や反響等は良くありませんが、机等が無いので、広いスペースの中での演奏でした。1年生の観客も多く、会場に入りきれない人たちが廊下から見学するような大盛況のコンサートとなりました。



演奏曲は、『キセキ』、『ミッション：インポッシブル』、『ルパン三世のテーマ』です。生徒会入会式でも演奏した『ルパン三世のテーマ』は、より完成度が増したように感じられました。独奏の場面では演奏者に温かい拍手が送られたり、フロアの生徒から手拍子が湧き上がるなど会場全体で音楽を楽しむことができました。指導顧問のリズミカルで

迫力のある指揮と演奏の一体感が感じられる大変素晴らしい一時でした。

先輩たちに向けられた憧れの目線を見ると今日の演奏で新入部員が確実に増えたことでしょう。

この日曜日には、市民会館で『吹奏楽の集い』も開催され、能生中吹奏楽部も参加してきます。感染症予防のために多くの観客の前で演奏することはできませんが、今夏のコンクールに向けて演奏環境が整った会場での経験は大きなものになると思います。一つ一つの機会を大切に、自分たちで奏でる音を磨いていきます。

### 生徒会組織固め 代議員の任命式(5月7日)



連休の前になりますが、生徒朝会で各学級の級長、副級長が代議員として任命されました。生徒会活動を学級代表として支える代議員が生徒会長から任命され、生徒総会に向けて議案書の審議等も行われていきます。いよいよ令和3年度の生徒会組織が固められました。能生中創立30周年に向けて、生徒会も新たな取組を展開してくれています。生徒会員相互の自浄能力が高まっていくことも期待しています。



生徒会長から任命書を代表で渡された、3学年委員長は、2年生時にも学年委員長として多くのことを経験してきたので、更に学年や学級がより良いものになるようにリーダーとして、団結して全員で楽しめる学校生活を実現したいと強い決意を述べてくれました。その後、各学級の代議員が力強く決意を発表しました。

フロアーの生徒からもリーダーと共に生徒会活動を進め、絆を創り上げていく決意の拍手が送られました。清々しい朝の一時でした。

### 教育実習開始



5月10日に教育実習生の着任式が行われました。今年度前期の教育実習に来られた先生方は、近隣にある教育大学の大学院から4名と母校実習の2名、計6名の先生方です。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から教育実習は行わず、秋に授業見学に来られたのみでした。

今年度はウィズコロナの意識の高まりから、通常に近い形で教育活動を進められています。教育実習も今日から3週間にわたり、感染症対策を徹底して行います。



6名の先生方から一言ずつ挨拶をいただいた後、

生徒会副会長が歓迎の言葉を述べました。能生中学校の生徒の様子や先生方との3週間の実習期間を有意義なものにしていきたいと、ノー原稿で堂々と話してくれました。一言一言を大切に発表する姿は、リーダーとしての確かな成長を感じさせてくれるものでした。3週間の期間中には、シオサイト学習、SDGs活動と仲間づくりを兼ねた遠足もあります。大学の講義では学ぶことのできない体験を能生中生徒ともに過ごしてもらえればと思います。

### 生徒が進める“SDGs活動”

#### 『いといがわコットンプロジェクト』 種植え



5月10日の「コットンの日」に先日a oさんからいただいた茶綿の綿花の種を植えました。

生徒会副会長から能生中学校生徒会が、何故、いといがわコットンプロジェクトの活動に参加するのか、昼の放送を利用して全校生徒に分かりやすく説明がありました。その上で、ボランティアを募集したところ40名近くの生徒が種植えに参加してくれました。

最初に外国で作られる綿の問題点として、焼き畑農業やプランテーションの農業の仕組み、有害な除草剤や肥料使用、児童労働等による低賃金や教育を受ける権利が保障されていない事実を学びました。

その後、女子生徒と男子生徒に別れて作業を進めました。女子生徒は、密な活動にならないようにグループを分けて、12個のプランターに種を植えました。プランターには、3~4本の綿花が適切ですが、倍以上を植え付けて成長後に芽引きします。

男子生徒は、グラウンドの角に作られた畑に植え

付けました。ビニールのマルチシートの穴に植えたのですが、種の数と参加人数が多かったのでシートが貼られていない畝にも急遽植えたりもしました。茶綿の種が余っています。植え付け後に発芽したものをポットに入れてお譲りします。希望がある方は連絡ください。



先にHPでも紹介しましたが、連休前に生徒会の本部役員が植えた、昨年度収穫したメイドイン能生中の綿花の種から芽が出ました。植え込みが深かったようで約2週間ほどかかりましたが、茶色の綿帽子をかぶったかわいらしい芽です。大きく育つように見守っていきます。

今年は、5/15の土曜日に行われる早川地区のa oさんの畑での綿花の種植えにも生徒のボランティア8名と教職員が参加してきます。地域の方の考えにふれたり、進めるSDGs活動や地域興しの活動を一緒に体験し、生徒が進める活動の参考にさせていただきます。能生中生徒会は、学びの機会を求めて地域にも足を運びます。

### 「海洋ゴミを考える」



能生中学校では全校挙げて、SDGs活動に取り組んでいます。その中で今回2年生の総合的な学習の一環として能生地域にお住まいで、海洋ゴミを使ったアートを制作している外国から移住されたRさんを講師に授業を行いました。Rさんは、海洋ゴミアートで環境問題を訴える活動をしています。一緒に活動しているIさんから通訳してもらい、能生の海を考える貴重な機会となりました。生徒はアイパットを片手にRさんのInstagramを見ながら、Rさんに質問したり、質問に答えたりしていました。5月24日(月)の遠足で校区内の海岸まで歩き、ゴミを拾い、アートをつくってみようとする意欲を高めることができました。

### 能生中ギャラリーの充実



昨日ホームページでも紹介しましたが、能生中校区にお住まいでマリンフレンズプロジェクトを展開している、リアンさんの『ブルードラゴン』コピーライトLeeanne Splattを校長室入り口の壁に展示しました。ペットボトルのフタやライターなどの海洋ゴミで作られています。大変迫力のある作品です。また、能生中学校のOGであるマリンフレンズプロジェクトの伊藤さんが編集してくれた作品写真集も展示しました。伊藤さんは、郷土糸魚川を愛し、糸魚川の素晴らしさをいろいろな場面で発信されています。明日15日に行われるa oさん主催のコットンプロジェクト活動でも能生中の生徒とも一緒に活動してくれます。

今後もお二人から力を借りて能生中学校のSDGs活動を進めていきます。

新潟県児童生徒絵画、版画コンクールで特選を受賞したコラージュ作品も展示しています。

題名は『歪』美しい色彩の中にも作者の思いが込められた作品です。美術の授業の中で、少ない時間の中、集中して創り上げた力作です。来校された時には、是非ご覧ください。